

小学校 低 学年<2-(3)>

学年	2年	時間	学級活動 「火事が起きた！」2年	時期	5月 避難訓練(火災)前	時数	1時間(45分)
目標	<ul style="list-style-type: none"> 身近な場面で火災が起こる危険があることに気付き、基本的な火の取扱いの注意点を知る。 火災によって起こる現象と危険性を知る。 火災の時の避難の留意点や学校での避難経路を知り、安全に行動することができるようにする。 						
資料	スライド(文部科学省・防災教育教材「災害から命を守るために」低学年・火災「火事が起きた!」)、プリント「おはしも」、ワークシート(文科省CD資料内)						

展開 スライドを提示した後、発問する。

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導入	<p>1. 火災について学習することを知る。 ◇火事について考えてみましょう。 スライド1を提示 ◇火を使うのはどんな時ですか。注意点は何かですか。 コンロ、お風呂、ストーブ など</p>	<p>○スライドを見せて、身近な暮らしの中で火を使う場面について話し合わせる。 ○火は扱い方によって、火災が発生する危険があることを理解させる。</p>
展開	<p>2. 火災の特性を理解し、火災が起きたときにどのような危険があるか、どのように身を守ればよいかを考える。 スライド2を提示 ◇火について、怖い思いをしたことがありますか。 ◇火事が起こるとどうなるでしょう。 ・やけどをする・大けがをする・物が燃えてしまう・家が燃えてしまう スライド3-1を提示 ◇学校で火事が起きた時どうやって避難しますか。 ・放送や非常ベルが鳴ったら避難する ・先生の指示に従って、素早く屋外に出る ・煙を吸わないように避難する ◇学校以外で起きた時どうやって避難しますか。 ・その場にいる大人の指示に従って避難する ・非常口のサインを確認する スライド3-2を提示 ◇火事するとき、熱い火のほかに気を付けなくてはいけないものは何でしょうか。 3. 防火のために、ふだんから気を付けることを考える。 スライド5を提示 ◇絵の場面で、正しい絵に○、正しくない絵に×を付けてみましょう。(ワークシート記入) ・花火のときは、必ず大人と一緒に、消火用のバケツなどを用意して行う ・火遊びは絶対にしてはいけない ◇火事を起こさないために大切なことを考えてみましょう。</p>	<p>○やけど、けが、さらには命を失う危険があることなど、被害の深刻さを理解させる。 ○火災で失いたくない、自分の大切なものを考えさせる。 ○避難訓練の方法を思い出させながら、避難の手順や注意することについての意見を引き出す。 ☆避難訓練の重要性を理解したか。 ○火災で発生する煙や有毒ガスの特性を説明する。 ・上から下にくる特性から床近くに新鮮な空気が残る ・一呼吸で意識を失ってしまう ・視界が遮断され避難できない ○火災のときに注意しなければいけないこと、避難の仕方について話し合わせる。 ☆予想される危険な事態について理解できたか。 ☆安全に行動する姿勢が身に付いたか。 ○絵の場面で危険な所を、文科省CD資料内のワークシートに記入し、話し合わせる。 ☆話し合いを通して、子どもだけで火を扱ってはいけないことが理解できたか。 ☆火災の恐ろしさに気付き、ふだんから火の取扱いに注意しようとする気持ちになったか。</p>
まとめ	<p>4. 火災の予防や火災による災害から身を守るために大切なことを確認する。 スライド6-1を提示 ◇火事の時、どんなことが大切か先生の話をお聞きしましょう。</p>	<p>○火災のときやふだんから気を付けることについて話し、ワークシートにまとめさせ、確認する。 ○プリントを拡大コピーして提示し、避難の約束「お・は・し・も」を確認する。 ☆火災に特有の対処方法や避難の注意点、防火の約束が分かったか。</p>

関連する教科・領域等	(生活) まちたんけん(5月) (体育) 集合、整列の仕方 (学校行事) 避難訓練(火災)【スモーク体験】【消火器での消火見学】
協力団体	鳥取県危機管理局消防防災課